

和歌山県有田市

箕島で暮らす多世代の住民による魅力再発見



【地域の基礎データ】

人 口：27,197 人（令和 3 年 2 月 1 日現在）

高齢化率：33.8%（令和 2 年 1 月 1 日現在）

産 業：農業（みかん）、漁業（太刀魚）、工業 など

【活動の基本情報】

参加学生数：8 名（1 回生：5 名、2 回生：2 名、3 回生：1 名）

活 動 期 間：平成 29 年 6 月～

担 当 教 員：藤井至

1. 活動実施の経緯

有田市箕島地区では、「箕島地区の魅力をお子たちに伝える」をテーマに二年、同地域における多世代交流をさらに進める活動として地域活動団体「ワンハート（箕島地区における活動団体）」と連携した活動を一年の三年間活動を実施してきた。令和 2 年度についても引き続き、ワンハートとの連携を軸に、地域のお子たちから大人まで多世代交流を盛んにするようなイベント企画・運営を活動目的とした。また、活動の中では、これまで実施されてこなかった各種活動におけるアンケート調査の実施やその効果測定、報告書の作成・発信等も視野に入れた活動計画を設計した。

2. 活動の内容

新型コロナウイルス感染症の影響により、限定的ではあったがオンラインを活用し、以下の活動を行った。昨年度に引き続き、イベントへの参加ではなく、その過程を重視した。

- ・有田市社会福祉協議会へのヒアリング：有田市・箕島地区の現状を知る
- ・ワンハート会議（オンライン）への参加：ワンハートへの企画提案など
- ・オンライン音楽会の企画・運営：全 4 回のオンラインイベントを企画・運営
- ・オンライン異世代活動報告会への参加：司会動画および活動報告動画の作成・公開
- ・その他の活動：上記の活動に関連したオンライン会議を多数実施

3. 活動を通じて

活動が制限されている中でも多世代間交流の場を作るべく積極的な活動が展開できた。参加学生・地域住民にとって慣れないオンラインイベントであったが、参加者の評価も高く、地域住民からは抵抗感のあったオンラインツールの活用についても前向きになれたという意見も聞かれた。イベントの企画・運営については、これまでの取り組みによりノウハウが蓄積されてきたが、それらのイベントの地域に対する効果については必ずしも確認できていない。効果検証については、今後の課題として取り組んでもらいたい。

4. 成果物（ポスター）

2020年度 箕島 LIP 活動報告

活動テーマ… 箕島の多世代交流

箕島ってどこ？

箕島山系は約3万人、有数のみかん産地で、みかん畑が大方。しらすなども特産品！私たちは毎年夏まで約「箕島LIP」を日本縦断してLIPです。



有田
老若
男女

オンライン音楽会

参加者それぞれが合唱している動画を集めて1つの動画を作成し、鑑賞する「オンライン音楽会」を企画しました。参加者交流会と、完成した動画を視聴する鑑賞会を行いました（いずれも ZOOM 使用）。

第1回



第2回



皆で歌うのがこんなに良いと思いませんでした。 —参加者

第3回



第4回



はじめてのオンラインイベント。不安だったが来てくれた人に喜んでもらえてよかった。 —LIP 学生（1回生）

動画をみてあつたかい気持ちになった。コロナの中でもつながることができることの証明ができたと思う。

—社協さん（地域）

ワンハートへの参画

毎月の定例会議に参加することで、地域で活動する団体と接点を持っている。ワンハートが主体となって活動する企画「折り鶴作成」と「モザイクアート作成」を提案した。現在、展示実施に向けて準備中。



普段の活動

毎週オンライン会議を実施。地域側の窓口である有田市社会福祉協議会様との会議も定期的を実施。箕島訪問も少人数で実施することができ、地域の雰囲気をつかむことができた。



反省と来年度に向けて

幅広い世代と交流を深められた一方…

- ・メンバー間のコミュニケーション不足によって情報共有がうまくいかなかった。
- ・企画が終了後に参加者との連絡手段がなくなるため、参加者とLIPとの継続した関わりが生まれにくい。

次年度の改善策

- ・正式な会議ではない場面での話は会議で話をして議事録に残す。質問があればすぐに聞いて解決する。
- ・メールまたはSNSアカウントを作成し、企画に参加していただいた人に情報発信をする